

タイトル	献辞
著者	安酸，敏真；YASUKATA, Toshimasa
引用	北海学園大学学園論集(175): i-ii
発行日	2018-03-25

献 辞

学長 安 酸 敏 眞

2018年3月末日をもって、工学部の買買提力提甫教授と人文学部の本城誠二教授が停年退職されますので、学長としてひとこと送別の辞を述べさせていただきます。

買買提力提甫先生は、昭和50年に中国新疆工学院機械学部をご卒業後、昭和61年7月に新疆ウイグル自治区政府派遣第二期研修生として来日され、平成元年3月に北海学園大学大学院経済学研究科修士課程を修了し、平成5年4月から北海学園北見大学及び北海学園北見短期大学講師、平成11年4月から同助教授、平成15年4月から北海学園大学工学部助教授、そして平成17年4月から同教授に就任されました。

先生は経済地理学会と北東アジア学会に所属しておられますが、本学では中国語会話Ⅰ～Ⅳ、中国文化Ⅱ・Ⅲ、国際寒冷都市論、世界の言語と文化、中国語言語演習などの授業を担当してこられました。学内活動としては、入試委員、国際交流委員、セクハラ防止対策委員会／基本権委員会、開発研究所研究員などを歴任されました。とても温厚な性格の心の温かい方であり、陰しい表情をされた先生をお見かけしたことは一度もありません。森本正夫理事長の信頼も大変厚く、まさにわが国と新疆ウイグル自治区、あるいは学校法人北海学園と新疆ウイグル自治区政府との間の、友好関係のシンボルとも称すべき存在であり続けました。

もうひと方の本城誠二先生は、昭和50年に北海道大学文学部文学科英文学専攻をご卒業後、同大学院文学研究科修士課程英語英文学専攻に進学され、昭和54年に同課程を修了されました。そして翌昭和55年4月、北海学園大学の旧教養部に専任講師として着任されて以来、実に38年の長きにわたって本学で教鞭をとってこられました。この間の経歴をもう少し詳しく記しますと、昭和55年4月～昭和62年3月教養部専任講師（英語）、昭和62年4月～平成10年3月同助教授、平成10年4月～平成13年3月共通教育・研究センター助教授、平成13年4月～平成19年3月経済学部教授、平成19年4月～現在まで人文学部教授を務めておられます。このようなご経歴のなかに、「大学の設置基準の大綱化」に伴う教養部の改組転換の影響が色濃く反映されており、先生のご苦勞が並大抵ではなかったことが伺われます。

日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本アメリカ学会、MLA（米国現代言語文学学会）などに所属しておられる先生のご専門は、アメリカ文学、そのなかでもとりわけ現代小説とポピュラー・カルチャー（音楽・映画・美術等）です。二年近く前に上梓された『Crossing Borders —

『ジャズ／ノワール／アメリカ文化』（英宝社、2016年）は、先生の長年のご研究の副産物のような書物ですが、軽妙洒脱な筆運びのなかに深い教養を湛えており、アメリカのポップ・カルチャーへの最良の手引きとして評価されています。先生は38年の長きにわたって学内外の様々な活動に従事してこられましたが、学内活動として特筆すべきは、平成22年4月～25年3月の2期4年にわたって教務センター長を務められたことです。

敬愛するお二人の先生が、今年度末をもって本学を去られるのは寂しい限りですが、今後とも本学を温かく見まもり、ご指導ご鞭撻下さるようお願い申し上げます。お二人の先生のご健勝をお祈りし、はなむけの言葉とさせていただきます。